

会員だより

私「コロナ」
怖いのです!!

生まれて九十数年、戦争に次いで大きな出来事です。

私はもう十分生きてのでコロナそのものはなくても仕方がないとさえ思っています。

でも自分が感染元になるのは絶対嫌です。

不要不急の外出は避けるようにいわれても、減ったのは8割とか。あとの2割の方は、不用不急でない方ばかりなのでしようか。

ニュースを見ても、あまり用事もなさそうな人

ここで少し川柳で和んで!!

新型コロナウイルスの感染で、何もかも大変な時代になりました。私たちが、我慢する事が増え、これからは感染しない様子を付けながら、上手く共存する事が必要なのでしょうか？
少しでも和んで貰ったらと、身に覚えのある様な川柳を紹介します。
(シルバー川柳入選作品より転載)

- 1)  この動悸
昔は恋で
今病気
- 2)  いびきより
静かな方が
気にかかる
- 3)  万歩計
半分以上
捜し物
- 4)  誕生日
ローソク吹いて
立ちくらみ
- 5)  大事なら
まうな二度と
出てこない

このような時に川柳に挑戦しても楽しいですよ。

記：明見容子



Stay at home
Only go out for food health reasons or work (but only if you cannot work from home)

が盛り場などを歩いていきます。自分は絶対コロナにはかからないと思っっているのでしょうか。

しれませんが、私は「命あつての物種」と思っています。
この大変なときに自分に来ることはと考えると、ただじつとしていことしかならぬと思っいます。
お気を悪くされる方もいるかもしれませんが、お許しください。

記：牧戸富美子

「妖怪アマビエさん」
コロナから守って

友達から三田天満神宮の「アマビエ」に疫病退散祈願のお札をホームペーで届けてくれました。
「アマビエ」について知



江戸時代の瓦版
(京都大付属図書館所蔵)

今回新型コロナウイルス感染症の終息を願ひ、兵庫県三田市天神3の三田天満神社の生田真宮司さ

らなかつたので調べてみました。
アマビエは約170年前に現在の熊本県の海に現れて豊作や疫病を予言し、「疫病が流行した際は、私の絵を描いて人々に見せよ」と告げて姿を消したと伝わる。



4月下旬に生田宮司さんが企画し、アマビエは絵が得意な長女が描かれたそうです。絵札は完成後におはらいをして拝殿前に置くと、2日で約200枚が持ち帰られたとい

目で見えない今回の新型コロナウイルス問題に立ち向かってくれる「アマビエ」さんにご依頼したい。

記：写真：大岡成一



どこもかしこも

コロナ騒ぎ

私は年1回程度家族誌を出して、今回10号を発行しました。その名は「うから

やから」と言い、一族郎党の意味で、夫の祖父(安政3年・1854年生まれ)明治83歳没)の短歌「老いが身もうからやからと祝(ほき)かはし心楽しく屠蘇の酒のむ」から付けました。家族誌の作成の発端はパソコン教室の宿題からでした。



当初は身近な親戚から集めていましたが、最近九州から関東・ヨーロッパまで広がり、今回は15か所からニュースが集まりました。その中で新型コロナウイルスの災害に触れていない人は誰もいませんでした。それ程世界中が震撼とした災害で、世界各地でも脅威を振るっている。人間の歴史から見て、疫病が流行り、100年、200年後に終息したものもあると言われますが、医学、科学が発達した現代です。このウイルスが絶滅しなくとも人間の知恵で、うち勝つ治療が解明されることを信じます。

記：写真：上村サト子